

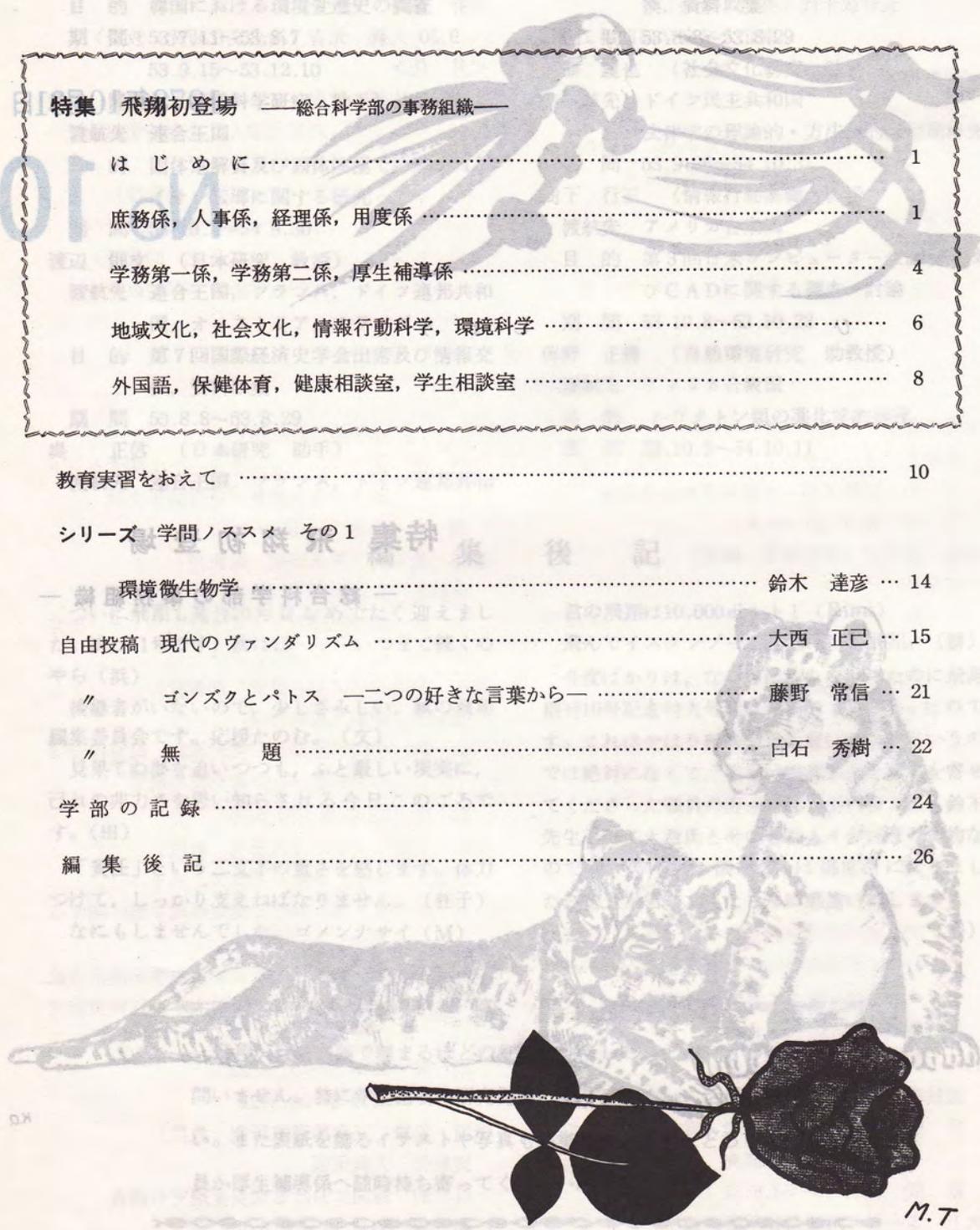
特集 飛翔初登場 ——総合科学部の事務組織——

はじめに	1
庶務係, 人事係, 経理係, 用度係	1
学務第一係, 学務第二係, 厚生補導係	4
地域文化, 社会文化, 情報行動科学, 環境科学	6
外国語, 保健体育, 健康相談室, 学生相談室	8

教育実習をおえて	10
----------------	----

シリーズ 学問ノススメ その1

環境微生物学	鈴木 達彦 ... 14
自由投稿 現代のヴァンダリズム	大西 正己 ... 15
〃 ゴンズクとパトス —二つの好きな言葉から—	藤野 常信 ... 21
〃 無 題	白石 秀樹 ... 22
学部の記録	24
編集後記	26



特集 飛 翔 初 登 場

—総合科学部の事務組織—

はじめに

昭和49年6月に教養部が改組されて出来た新しい総合科学部の事務部は、事務室の7つの係と、そして教室系事務とで組織されております。

事務部の事務室は正面玄関を右折したところに並んでおり、また教室系事務官は、各コース・講座の図書室等において事務がとられております。事務職員は総勢96名で、それぞれの職種によって、また仕事の内容も異っております。

ご存知の様に大学は研究・教育の場であり、その研究・教育がスムーズに行われるための補助の役目を果しているのも事務職員であります。事務の組織は、事務長の総括のもとに事務長補佐2名（1名は管理担当、1名は学生担当）、係長、主任、係員が『広島大学処務規程』、『総合科学部事務分掌細則』に基づいて、それぞれ分担された事務を取り扱っております。

教官と事務官では、その仕事の内容も組織も別々なものでありますが、車の両輪の如く動いて所期の目的が達せられるのであります。このように大学にとっても事務職員のしめる役割は重大で、不可欠なものであります。

事務職員になるには、公務員試験に合格し、そして大学の採用試験に合格して採用され、事務部の各係か、教室系職員となるのであります。事務部の各係とは、総合科学部では庶務係、人事係、経理係、用度係、学務第一係、学務第二係、厚生補導係の7係であり、教室系の職員は4コース、外国語諸講座、保健体育講座、健康相談室および学生相談室に分かれて職務を遂行しているのであります。

総合科学部では、学部の専門科目と一般教育の授業が行われており、特に一般教育は主として各学部の1～2年生約5,000名がこの学部で授業をうけています。事務官はこの多くの学生の事務的なことについて、事務室、各教室においてお世話をしているので、学生諸君も気軽に関係のところの窓口で相談されたら良いと思います。

各係及び教室系の業務内容や担当者の横顔につ

いての案内は下記により詳細に御紹介をいたします。（事務長記）

総合科学部の事務部門の総まとめ役としての山本正男事務長は、現在50代に達しておりますが、気分はあくまで若く、若者の多い職場で公私ともに指導、相談に応じてくれる親しみのある首領であります。かつては身もほっそりとして長身の美青年の時代もありましたが、ここ数年の間に威風堂々の中年太りになってしまいました。趣味は多種にのぼりますが、最も得意とするのは4人で行う中国語研究会(?)とのこと。力量の方は本人の弁をまつより読者の想像におまかせしましょう。

管理部門（庶務、人事、経理、用度）を担当している木村俊雄事務長補佐は、大正末期の生まれで明朗闊達な性格であって何事でも話し易い上司です。とくに仕事の面では深い経験を基にした理論を展開され懇切丁寧に我々を指導してくれるよき兄貴分というところです。

学生部門（学務第一、学務第二、厚生補導）担当の田部 実事務長補佐は、昭和1ヶ月生まれの温厚な人柄で、学生関係の仕事ははじめてながら持ち前のフアイトをもって仕事に取り組み、とくに学生部門の業務の中にあって前職（管理部門）での経験を生かして助言されるなど、若い職員よりよきアドバイザーであります。

庶 務 係

庶務係は、総合科学部の玄関、向って右側にあり係員は総勢7名です。

係員の紹介は後に述べるとして、まず庶務係が担当している業務をあげると(以下、各係とも「総合科学部事務分掌細則」による)

- (1) 事務の総括、連絡調整に関すること。
- (2) 公文書の接受、発送、整理及び保存に関すること。
- (3) 公印の管守に関すること。
- (4) 儀式及び会議に関すること。
- (5) 規程の制定及び改廃に関すること。
- (6) 学術団体との連絡に関すること。
- (7) 科学研究費等の申請に関すること。

- (8) 職員の健康及び安全保持に関すること。
- (9) 職員の身分証明書に関すること。
- (10) 勤務時間の管理に関すること。
- (11) 宿日直に関すること。
- (12) 警備及び衛生に関すること。
- (13) 渉外事務に関すること。
- (14) 調査統計に関すること。
- (15) その他他の係に属しないこと。

以上15項目になっておりますが、業務の内容は主に教官、職員を対象として学部全体にまたがっております。

次に係のメンバーの紹介にうつります。係員はさきに述べました7名ですが、女性からさきに紹介しましょう。

岩本スミエ事務官は、昭和44年教養部庶務係へ勤務し、総合科学部発足後も引続いており、約300名の教職員の健康保持、身分証明書の発行、調査統計に関することを扱っているベテラン。私生活においてはフラワー・デザイナー、生花の師匠と幅広い活躍をしています。

柿田由紀子事務官は、和文のタイピストとして学部全体の和文タイプを引き受けると同時に休暇の整理、出勤簿の点検にあたっています。結婚して数カ月、ようやくおのろけも聞かせてもらえるようになりました。

奥田啓子さんは、最初L.L教室におりましたが、今年の4月から庶務係へ配置換になり、学部長秘書として学部長室で執務しています。学生時代はワングル部で活躍したとのことですがいまの彼女からは当時は想像することはできません。

男性については、生氣あふれる若い方から紹介しましょう。小野毅事務官は、今年4月に採用された新人で名前に似合わずやさ男です。初任者研修を無事に終え、文書の接受、発送と不馴れな仕事に精一杯努力しております。最近、広大ソフトボール部に入部し紅顔の美青年も浅黒く日焼してたくましさを増してきました。

渡橋英明事務官(おりはしと読む)は、4月に小野君に仕事を譲り、現在は休暇願、超勤、宿日直等勤務に直接関係をもつ業務を担当しています。顔の黒さは一見地と見違えるぐらいですが、これはスポーツのためで、バレーボール、テニス等なんでもござれのスポーツマンで、いまのところ独身。

松本伸事務官(しんと読む)は、教官の研究に最も関連する科学研究費、海外渡航、出張(旅行)の手続など、学外団体に関係をもつ手続を担当しております。一児のパパとして最近新居を購入し将来への設計も順調にすすみ頑張っています。スポーツ万能の彼も、左ヒジを痛めスポーツから遠ざかっており、体重のふえることが彼の悩みとか……

大番卓司事務官は、今年4月から庶務係長となった新米ですが、教養部から総合科学部へと9年間、厚生補導係長、学務第一係長として居すわってました。スポーツや麻雀など大勢で騒ぐことが好きですが、最近体力の衰えを自認しつつある昭和1ケタの中間派です。仕事は庶務係の事務分掌中最も漠然とした内容の(1)と(15)を主に行っていますが、特に(15)の他の係に属しない事項に振りまわされているのが4月から現在までの実態というところか。(大番記)

人 事 係

人事係は、昭和51年4月に庶務係から分れた新しい係で、部屋は庶務係の隣に位置し、係長以下4名の当学部で一番少人数の係であります。

当係が担当している職務は次のとおりです。

- (1) 職員の任免に関すること。
- (2) 職員の給与、恩給、共済組合長期給付及び退職手当等に関すること。
- (3) 職員の人事記録に関すること。
- (4) 職員の研修及び留学に関すること。
- (5) 職員の服務及び勤務評定に関すること。
- (6) 職員の栄典及び表彰に関すること。
- (7) 人事統計に関すること。
- (8) その他人事に関すること。

以上の業務となっており、教官、事務職員を対象にした仕事です。

次に係員の紹介にうつることにします。

まず、今年4月1日付け庶務係より部内異動となった谷川貴史事務官は、主に事務職員、地域文化コース、社会文化コース教官の任免、給与、栄典及び諸手当等の事務を担当しており、スポーツはテニス、バレーボール、ソフトボールと学内の大会で活躍しております。

中道一博事務官は人事係ができて以来の係員で、主に情報行動科学コース、環境科学コース、

外国語諸講座、保健体育講座教官の上記と同じ事務を担当している好青年で現在のところ独身であります。

係の紅一点、石田和子さんは今年の5月に採用された係員で、教官公募、勤務評定、福利厚生、構内通行証の交付等いそがしい仕事をテキパキさばいているお嬢さん。今春大学を卒業したばかりのホヤホヤの社会人で目下花嫁修業中の明るい性格の現代女性です。(平田記)

平田芳土係長は52年4月人事課から配置換になったベテランで特に我々教職員にもっとも身近な給与計算と、退職時の退職手当、年金のオーソリティである。係の総括はもとより、自らも“職員の栄典”、“定員管理”を分担している。昭和1ケタ生まれながら気は若々しく中国語の4人組(中国の4人組とは無関係)の元締である。

経 理 係

昭和50年4月、かつての会計係が総合科学部創設に伴い、予算並びに定員の増が認められ、経理係と用度係の2係となって今日に至っている。

仕事が分離したとはいえ、常に関連のある業務内容で経理係と用度係を一言でいえば、経理係は予算の獲得、用度係はその執行である。

日々行っている業務を列挙すると、

- (1) 予算及び決算
- (2) 給与・旅費の支払い
- (3) 医療給付金、奨学金の支払い
- (4) 共済組合
- (5) 受託研究費・科学研究費・奨学寄付金の経理
- (6) 授業料等の収納(それに伴う債権管理)
- (7) 国有財産の管理
- (8) 公務員宿舎の入退居
- (9) 所掌事務の調査・報告

以上のとおりである。

経理係長を筆頭に、4名(男性3名、女性1名)の係員で構成され、常に責任感に燃え日々の業務を遂行している。

また、経理係は給与や旅費などを支給する為、教官や事務官には大変喜ばれる係だが、一方学生にとっては授業料を徴収されるという被害者意識(?)があるせいか怖い場所だそう(特に授業料未納者には)が、授業料の支払が困難な人ほど気軽に相談に来ていただければ、法規の許す範囲

内で適切な指示をすることも出来はしまいかと思っている。

では、係員並びに日常業務を原事務官に紹介して貰う。

一見紳士風で芸術家タイプの藤川係長、係員をグイグイ引っ張っていくのもしくて、行動派の係長である。係長と反対で柔和で温厚な、タヌキの様な山口事務官、予算及び決算という大変難しい仕事をテキパキと処理していく有能な人である。医療費・奨学金・共済組合など福祉面の仕事は紅一点で大変美しい村上事務官、彼女は仕事に対して大変熱心で真面目な人柄である。科学研究費・旅費など研究のお手伝をしているのは、自称ハリウッドの2枚目?大倉事務官である。最後に私(原)であるが、授業料関係を担当しております。女子学生には、非常に多くのファンがいるが、男子学生はとかく私の顔を見ると授業料納入の督促でもするんじゃないかとにらみつけられる。今後学生諸君と話す機会をもっと持ちたいと思っている。

以上が大まかな業務分担です。

物足りない所もあるかと思うが、わが経理係の今後の活躍を見守って欲しい。

用 度 係

大学は教育・研究の場であるのはいうまでもなく、学生・教官・職員と多くの人々の集団でもあります。これらは国家予算でもって運営がなされており、この予算の執行・管理をしていくために法で定められた会計機関が設定されております。

総合科学部の事務機構にも専門の係がありますが、その1つに用度係があります。この用度係においては、予算の執行と同時に建物施設の管理という大きな仕事をもつなかで、例えば建物内の設備の維持・清掃、あるいは外的条件下にあってはポプラ(樹木)の花粉や落葉が飛ぶため剪定、清掃をし、地域対策を講じたり校費の節約の一助として労働奉仕する面も係としてはしばしばあり、このような要因を背景に一般事務も遂行されております。

では次に用度係の構成員を紹介いたします。今年8月に教育学部会計係長から転任された中井薫二係長を筆頭に、総勢19名という他の係にはない大所帯で構成されています。中井係長は温厚篤実な方で性格は陽的で、係のかなめとしては申し分